

衆議院農林水産委員会ニュース

【第204回国会】令和3年4月14日（水）、第6回の委員会が開かれました。

1 農林水産関係の基本施策に関する件

・野上農林水産大臣、葉梨農林水産副大臣、和田内閣府大臣政務官、吉川内閣府大臣政務官、船橋財務大臣政務官、池田農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者）佐々木紀君（自民）、稲津久君（公明）、亀井亜紀子君（立民）、堀越啓仁君（立民）、金子恵美君（立民）、玉木雄一郎君（国民）、串田誠一君（維新）、田村貴昭君（共産）

（質疑者及び主な質疑事項）

佐々木紀君（自民）

- （1） 地方創生移住支援事業関係
 - ア 地方創生移住支援事業の要件に就農を含めることに対する見解
 - イ 地方創生移住支援事業と農業次世代人材投資事業の併用に対する見解
 - ウ 地方創生移住支援事業において、農業を副業としたリモートワークに対する見解
- （2） 農協改革関係
 - ア 農協の会計監査人監査への移行に伴う費用等負担増に対する農林水産省の支援策
 - イ 准組合員の利用規制についての検討状況
 - ウ 農協が自ら農業経営に取り組むことの目的及び現状
- （3） 農業機械のグリーン化の取組や今後の方針

稲津久君（公明）

- （1） 農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略で取り組むこととされた品目団体の組織化の状況
- （2） 農福連携推進に当たっての周知、支援についての所見と今後の取組
- （3） 土地改良長期計画の目標設定の考え方及び根拠
- （4） 小水力発電施設の利用効率向上に向けた非かんがい期の水利権取得及び水利権水量増量の必要性
- （5） 水稲の有機栽培体系における雑草防除のスマート化の状況及び今後の取組

亀井亜紀子君（立民）

- （1） どぶろく特区等の酒税法の特例措置に係る構造改革特区が多数に及んでいる状況において酒税法自体を改正する必要性
- （2） 養父市における企業による農地取得特例に係る国家戦略特区関係
 - ア 株式会社による農地所有に対する農林水産大臣の評価
 - イ 農地のリースではなく所有による効果に係る内閣府の見解
 - ウ 農地のリースではなく所有する必要性
- （3） 企業の農業参入・農産物の輸出と地産地消の関係を踏まえた農業の方向性について農林水産大臣の見解
- （4） 改正卸売市場法関係
 - ア 改正法施行後における企業による卸売市場の開設等の状況
 - イ 特定の企業が自社市場を開設し生産から市場販売まで行う仕組みについての法的可能性
- （5） ミニマムアクセス米を海外への食糧支援等に活用することの可否
- （6） 一昨年米国から緊急輸入した飼料用トウモロコシの現状
- （7） 米国がTPPに戻らない見込みを踏まえてのCPTPPの牛肉セーフガード発動基準等の再交渉に

係る判断時期

堀越啓仁君（立民）

- (1) 防疫のための家畜の殺処分関係
 - ア 殺処分従事者におけるアニマルウェルフェア関連のO I Eコード等の把握状況及び防疫のための殺処分に係るマニュアルにおけるアニマルウェルフェア関連の記載の有無
 - イ 殺処分従事者の精神的負担軽減とアニマルウェルフェアの関係に係る農林水産大臣の見解
- (2) 高病原性鳥インフルエンザに感染した鶏の殺処分関係
 - ア O I Eコード等から逸脱していると考えられる殺処分方法に対する認識及び是正する必要性
 - イ 殺処分された採卵鶏におけるケージ飼育の割合
- (3) 長期的にケージフリー飼育を国として推進すべきとの考えに対する農林水産大臣の見解

金子恵美君（立民）

- (1) 福島第一原発のALPS処理水の海洋放出関係
 - ア この時期に海洋放出に係る基本方針を決定した理由
 - イ 基本方針を決定した関係閣僚会議における農林水産大臣の発言内容
 - ウ 海洋放出に要する期間
 - エ 第一次産業にとどまらない影響への対応についての農林水産大臣の認識
 - オ 福島、日本の漁業をどのように守るかについての農林水産大臣の所感
- (2) 漁具の海洋流出問題に対して水産庁としても取り組む必要性

玉木雄一郎君（国民）

- (1) 農林水産物・食品の輸出関係
 - ア 牛肉の輸出目標額の実現可能性
 - イ 牛肉の中国への輸出実績
 - ウ 中国との検疫協議の進捗状況及び我が国の牛肉がカンボジアから中国に持ち込まれているという情報の真偽
 - エ R C E P（地域的な包括的経済連携協定）交渉等の場を利用して我が国の農林水産物・食品に対する輸入規制の撤廃を求める外交努力の状況
- (2) 営農型太陽光発電に係る農地転用規制関係
 - ア 規制改革会議のタスクフォースで示された農地転用規制の見直しの内容
 - イ 今後の「発電設備の下部の農地の適正かつ効率的な利用」状況を農業委員会が判断する基準

串田誠一君（維新）

- (1) 畜産技術協作成の資料「アニマルウェルフェアの向上を目指して」関係
 - ア 農林水産省による資料の利用状況
 - イ 資料中の「EU及び米国の現状」についての農林水産省の受止め
 - ウ 資料中の「加速する国際機関の動き」に対する農林水産省の認識
 - エ 資料中の「日常の飼養管理や取り組みについて、改めて見直すことが重要」とする記述に対する農林水産省の認識
- (2) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会選手村で提供される鶏卵に関する基準
- (3) 採卵鶏のケージ飼育についての農林水産大臣の認識及び目標

田村貴昭君（共産）

グリホサート等の農薬関係

- ア 小麦を原料とする食品におけるグリホサートの残留についての調査の有無
- イ グリホサートに対する農薬取締法上の再評価の実施時期
- ウ 農薬の食品健康影響評価における健康被害に関する論文の位置付け
- エ 補助剤関係
 - a ラウンドアップ等で使用されている補助剤の検査を行う必要性
 - b 補助剤の使用を禁止する必要性
 - c 補助剤単独での安全性審査の有無
- オ 慢性無毒性量の安全係数を引き上げる必要性
- カ 企業が提出したデータに基づき安全性審査を行うことの妥当性
- キ グリホサート使用禁止の必要性及び農林水産大臣の認識
- ク 学校給食のパンにおける農薬の残留状況を調査する必要性

2 畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律案（内閣提出第 45 号）

- ・ 野上農林水産大臣から趣旨の説明を聴取しました。